

授業科目名	成人看護学援助論（慢性期・回復期・終末期）(2300213)		
時間割名	成人看護学援助論（慢性期・回復期・終末(54204)		
時間割担当	梶村郁子		
実施期	前期	単位数	2 必修
曜日・時限	金・4		

授業の目標・概要

生涯疾患とともに生活することを余儀なくされている対象者とその家族の看護、および終末期にある患者と家族の看護について学習する。慢性期疾患患者の看護においては、終生自己管理を必要としなければならない患者の心理状況を理解するとともに、具体的な看護方法について学ぶ。演習については講師・助教も担当する。

学習の到達目標

1. 慢性的・長期的な健康問題をもつ人とその家族への看護ケアが理解できる。
2. 健康回復のための疾患管理や日常生活行動におけるセルフケアに必要な看護ケアが理解できる。
3. 終末期にある人とその家族の体験する様々な問題とその看護ケアが理解できる。

授業方法・形式

講義・演習

授業計画

- 第1回 慢性病患者の看護1：ガイダンス、慢性疾患の動向、慢性期看護の考え方、
- 第2回 慢性病患者の看護2：慢性期にある人の特性と看護活動
- 第3回 呼吸器系障害をもつ患者の看護
- 第4回 呼吸器系障害をもつ患者の看護演習
- 第5回 呼吸器系障害をもつ患者の看護演習
- 第6回 内分泌・代謝系障害をもつ患者の看護
- 第7回 糖尿病・腎障害をもつ患者の看護
- 第8回 消化器系障害をもつ患者の看護1：肝胆膵
- 第9回 消化器系障害をもつ患者の看護2：管腔臓器
- 第10回 神経・膠原病をもつ患者の看護
- 第11回 脳血管障害をもつ患者の看護：急性期・回復期・慢性期
- 第12回 循環器系障害をもつ患者の看護
- 第13回 運動器系障害をもつ患者の看護
- 第14回 がん・緩和ケア看護：終末期
- 第15回 終末期の看護演習

成績評価の基準

定期試験60%、小レポート30%、質疑応答10%

授業時間外の課題

成人看護学概論および解剖・生理学、病態学、薬理学の講義内容の理解に努めること。

メッセージ

講義内でお伝えします。

教材・教科書

テキスト：「成人看護学 慢性期看護論（第2版）」ヌーヴェルヒロカワ, 東京
「ゴードン看護診断マニュアル 原書第11版 機能的健康パターンに基づく看護診断
「緩和・ターミナル看護論」ヌーヴェルヒロカワ, 東京

参考書

参考書：適宜紹介します